



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 アイティフォー

上場取引所 東

コード番号 4743 URL <https://ir.itfor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 恒徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中山 かつお

TEL 03-5275-7841

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,452	5.5	1,680	6.6	1,722	6.2	1,189	7.0
2023年3月期第2四半期	8,959	3.9	1,575	8.3	1,621	7.8	1,111	5.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,489百万円 (23.7%) 2023年3月期第2四半期 1,203百万円 (1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	43.41	43.29
2023年3月期第2四半期	40.28	40.18

(注) 「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、取締役向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	21,347	16,958	79.3	628.70
2023年3月期	21,667	17,167	79.1	618.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 16,938百万円 2023年3月期 17,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		30.00	30.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	14.6	3,400	5.7	3,460	5.5	2,370	3.4	87.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上、取締役向け株式交付信託が保有する当社株式を期末発行済株式数から控除する期末自己株式数に含めておりません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	28,611,900 株	2023年3月期	29,430,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	1,669,571 株	2023年3月期	1,722,504 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	27,395,672 株	2023年3月期2Q	27,586,754 株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、取締役向け株式交付信託が保有する当社株式を含めておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

本日2023年11月9日に機関投資家およびアナリスト向け決算説明会の開催、ライブ配信を予定しております。決算説明内容の動画および決算説明資料は後日、当社IRサイトに掲載いたします。(<https://ir.itfor.co.jp/>)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは2021年度から2023年度を対象とした中期経営計画を策定し、経営基盤の強化、収益性の向上、E S G経営の進化の3つを柱に、「お客様に寄り添うチカラ」で持続的成長の実現を目指し、計画の達成に向け事業活動を推進しております。

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）におけるわが国の経済は、感染症の5類移行に伴い、サービス消費を中心に緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源価格・原材料価格の高騰や円安進行による物価上昇に加え、イスラエル・パレスチナ情勢など、先行きは依然として不透明な状況で推移しています。

当社グループを取り巻く国内ITサービス業界では、「非接触」や「非対面」を実現するデジタル化のニーズが引き続き高く、AIやブロックチェーンなど、デジタル技術を活用したビジネスプロセスやビジネスモデルの変革を行うDX（デジタルトランスフォーメーション）を中心に企業の投資意欲は引き続き高い状態にあります。

営業活動においては、金融機関を中心に、当社の主力である延滞債権管理システムの安定的な受注に加え、個人ローン業務支援システム「SCOPE」と業務の非対面化を実現するローンWeb受付システム「WELCOME」を組み合わせた新規販売および機能追加が堅調に推移しました。これらの当社システムは、申込用紙の削減や契約書類も電子化することで環境への配慮を実現しつつ、審査に費やす時間の短縮に貢献しております。また、延滞債権督促業務を無人化した「ロボティックコール」の販売が好調で、利用が広がっています。その結果、受注高は11,420百万円（前年同期比124.7%）、受注残は17,268百万円（前年同期比113.2%）といずれも前年同期を大きく上回りました。

業績においては、売上増加を達成しつつ粗利率改善のための取り組みとして、外注加工費などの原価低減が奏功しました。販管費は、2023年4月からの賃金改定による人件費の増加、採用や教育費用の増加などの人財投資に注力しました。研究開発費は前年同期49百万円に対し、今期は119百万円と開発投資も進めています。また、前期からのオフィス増床・改装などの職場環境改善に注力した結果、販管費は1,895百万円（前年同期比109.9%）と増加しました。一方で、営業活動の強化により、費用増を吸収する企業努力に取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は9,452百万円（前年同期比105.5%）、営業利益は1,680百万円（前年同期比106.6%）、経常利益は1,722百万円（前年同期比106.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,189百万円（前年同期比107.0%）と増収増益となりました。

なお、報告セグメント別の経営成績は次のとおりです。

(システム開発・販売)

基幹事業である金融機関向けのソフト開発、インフラ設備の更改、個人ローン業務支援システムなどの金融機関への新規取引拡大により販売は堅調に推移しております。また、マルチ決済端末「i R I T S p a y決済ターミナル」の販売も好調に推移しました。加えて、東京都より「中小企業サイバーセキュリティ対策強化サポート事業」を昨年度に引き続き受託、参加企業の募集を開始したことでAI型EDRサービス「C y C r a f t A I R」の受注に繋がっています。その結果、受注高は6,528百万円（前年同期比115.1%）、売上高は5,328百万円（前年同期比103.5%）となりました。一方、円安による決済端末輸入コスト増により、セグメント利益は923百万円（前年同期比96.2%）となりました。

(リカーリング)

安定収益源である保守サービスに加え、公共分野向けBPO（業務受託）サービスにおいて政令市・中核市を中心に、既存契約先からの追加受注に加え、新規受託先の売上が計上されるなど引き続き好調に推移しております。研究開発費は前年同期と比べて58百万円増加しました。その結果、受注高は4,892百万円（前年同期比140.5%）、売上高は4,123百万円（前年同期比108.3%）、セグメント利益は756百万円（前年同期比122.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は21,347百万円となり、前連結会計年度末に比べて320百万円減少いたしました。流動資産は17,034百万円となり、641百万円減少いたしました。主な原因は、棚卸資産が655百万円増加しましたが、有価証券が799百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が683百万円減少したことなどです。固定資産は4,312百万円となり、321百万円増加いたしました。主な原因は、投資有価証券が時価評価などにより395百万円増加したことなどです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は4,388百万円となり、前連結会計年度末に比べて110百万円減少いたしました。流動負債は4,132百万円となり、110百万円減少いたしました。主な原因は、契約負債が226百万円増加しましたが、買掛金が315百万円減少したことなどです。固定負債は256百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は16,958百万円となり、前連結会計年度末に比べて209百万円減少いたしました。主な原因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,189百万円、投資有価証券の時価評価により300百万円増加しましたが、自己株式の取得により899百万円、剰余金の配当の支払いにより835百万円減少したことなどです。

なお、675百万円の自己株式の消却をしたことにより、資本剰余金および利益剰余金が減少しております。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の79.1%から79.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は10,094百万円となり、前連結会計年度末と比べ702百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動から得られた資金は1,317百万円(前年同期比122.9%)となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益1,725百万円、売上債権の減少額714百万円、減価償却費152百万円であり、主な減少要因は棚卸資産の増加額655百万円、法人税等の支払額596百万円、仕入債務の減少額315百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は318百万円(前年同期比114.8%)となりました。主な減少要因は有形固定資産の取得による支出179百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,700百万円(前年同期比212.3%)となりました。主な減少要因は自己株式の取得による支出899百万円、配当金の支払額834百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました予想からの修正はございません。

なお、業績予想は公表時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があるほか、予想自体についても今後変更となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,597,047	3,794,812
受取手形、売掛金及び契約資産	3,660,860	2,977,662
有価証券	9,499,685	8,699,708
棚卸資産	616,190	1,271,455
その他	302,752	291,092
流動資産合計	17,676,536	17,034,731
固定資産		
有形固定資産	903,083	866,882
無形固定資産		
のれん	61,577	34,507
その他	393,891	382,278
無形固定資産合計	455,468	416,785
投資その他の資産		
投資有価証券	1,770,808	2,165,908
繰延税金資産	248,163	164,363
その他	613,372	698,615
投資その他の資産合計	2,632,344	3,028,887
固定資産合計	3,990,896	4,312,555
資産合計	21,667,433	21,347,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,361,709	1,046,178
未払法人税等	614,638	603,571
賞与引当金	547,334	562,971
契約負債	717,642	944,615
その他	1,001,834	975,224
流動負債合計	4,243,160	4,132,561
固定負債		
退職給付に係る負債	202,707	202,151
株式給付引当金	38,850	49,950
その他	15,045	4,278
固定負債合計	256,602	256,379
負債合計	4,499,762	4,388,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,367,439	1,245,675
利益剰余金	15,403,603	15,202,049
自己株式	△1,179,155	△1,362,437
株主資本合計	16,716,556	16,209,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	428,436	729,431
繰延ヘッジ損益	1,158	-
退職給付に係る調整累計額	△871	△850
その他の包括利益累計額合計	428,723	728,581
新株予約権	22,390	19,809
純資産合計	17,167,670	16,958,346
負債純資産合計	21,667,433	21,347,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,959,359	9,452,111
売上原価	5,659,251	5,876,488
売上総利益	3,300,107	3,575,622
販売費及び一般管理費	1,724,269	1,895,312
営業利益	1,575,837	1,680,310
営業外収益		
受取利息	1,722	1,509
受取配当金	27,844	28,029
持分法による投資利益	8,668	11,755
その他	22,323	9,286
営業外収益合計	60,557	50,579
営業外費用		
支払手数料	1,879	3,678
固定資産除却損	-	2,380
雑損失	13,100	2,100
その他	7	173
営業外費用合計	14,986	8,332
経常利益	1,621,408	1,722,557
特別利益		
新株予約権戻入益	5,362	2,750
特別利益合計	5,362	2,750
税金等調整前四半期純利益	1,626,770	1,725,307
法人税等	515,662	536,056
四半期純利益	1,111,108	1,189,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,111,108	1,189,251

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,111,108	1,189,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,232	300,806
繰延ヘッジ損益	-	△1,158
退職給付に係る調整額	605	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△69	189
その他の包括利益合計	92,769	299,850
四半期包括利益	1,203,877	1,489,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,203,877	1,489,102
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,626,770	1,725,307
減価償却費	201,695	152,534
のれん償却額	27,069	27,069
株式報酬費用	6,772	5,627
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,419	15,636
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,505	△551
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	12,210	11,100
受取利息及び受取配当金	△29,566	△29,538
持分法による投資損益 (△は益)	△8,668	△11,755
固定資産除却損	-	2,380
新株予約権戻入益	△5,362	△2,750
売上債権の増減額 (△は増加)	127,900	714,591
棚卸資産の増減額 (△は増加)	140,343	△655,265
仕入債務の増減額 (△は減少)	△164,098	△315,531
その他	△197,293	244,747
小計	1,727,858	1,883,604
利息及び配当金の受取額	29,695	29,482
法人税等の支払額	△686,181	△596,085
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,071,371	1,317,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	△100,011	△99,999
有形固定資産の取得による支出	△40,994	△179,688
無形固定資産の取得による支出	△152,890	△53,274
投資有価証券の取得による支出	△462	△474
貸付金の純増減額 (△は増加)	4,500	-
その他	12,038	14,471
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277,819	△318,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△899,998
自己株式の処分による収入	28,890	34,026
配当金の支払額	△829,687	△834,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△800,797	△1,700,260
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,237	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,007	△702,224
現金及び現金同等物の期首残高	10,585,599	10,796,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,581,591	10,094,566

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービスのビジネス特性を基礎としたセグメントから構成されており、「システム開発・販売」、「リカーリング」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品およびサービスの種類

「システム開発・販売」は、主にシステム機器販売、ソフトウェアやシステムインフラ基盤に関する設計・開発から導入・設置までの一貫したサービスを提供しております。

「リカーリング」は、主にソフトウェア保守、ハードウェアの保守・運用、クラウド、BPOサービスを提供しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	システム開発・販売	リカーリング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,150,180	3,809,178	8,959,359	—	8,959,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,535	1,430	6,965	△6,965	—
計	5,155,716	3,810,608	8,966,324	△6,965	8,959,359
セグメント利益	959,638	616,198	1,575,837	—	1,575,837

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	システム開発・販売	リカーリング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,328,498	4,123,612	9,452,111	—	9,452,111
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,359	1,245	5,604	△5,604	—
計	5,332,857	4,124,857	9,457,715	△5,604	9,452,111
セグメント利益	923,410	756,900	1,680,310	—	1,680,310